

2022年 3月 13日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌397番 ～ヤベツの祝福の祈り～

平和の祈り

聖書朗読 マルコによる福音書13章28～37節

特別賛美 ナイト de ライト 「愛の贈り物」

メッセージ 「末の世を明るく元気で生きていく！」

石井 潤 牧師

聖 餐 式 賛美「主イエスの十字架の血で」

献 金 聖歌229番 ～アメイジング・グレイス～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～主を待ち望む者は～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝します。今週も主の守りと助けをお祈り致します！

☆今週の祈り会：○早天祈祷会：明朝6時～。◎祈祷会：木曜午前10時半～
夜7時半～（大和の祈祷会映像に参加）○準備祈祷会：土曜夜8時～。

★今週木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集会が行われます。

☆来週の日曜礼拝では、卒業祝福式②を行います。〈司：白川兄／祈：村山姉〉。

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [3/13- /20]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	申命記 2-3	4	5-6	7-8	9-10	11-12	13-15	16-18
新約	マルコ 14:1-25	:26-52	:53-72	15:1-21	:22-47	16	ルカ 1:1-25	:26-56
チェック	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

「末の世を明るく元気で生きていく！」

～しっかりと目をさまして進んで行く～

「あなたがたをキリストにある永遠の栄光に招き入れて下さったあふるる恵みの神は、しばらくの苦しみの後、あなたがたをいやし、強め、力づけ、不動のものとして下さるであろう。」

ペテロの第一の手紙5章10節

「末の世」と言われますが、仏教にも「末法思想」と呼ばれる考え方があります。平安時代もそんな時代であったと言われたので、神仏にすがる状況が色濃かったようです。しかし、いついかなる状況でも、人間は不安定で、その心細さに、神仏を求め続けてきた部分がありました。日本には古来から神道があったにも関わらず、中国を渡って来た仏教がまず、日本でも根をおろしました。それから儒教も入ってきましたが、そんなにしっかりとした宗教が日本にすでにあつたにも関わらず、キリスト教も西洋の影響を受ける中で受け止められるようになりました。飽くなき神仏追求の歴史が日本にはあります。

ユダヤ人たちも、アブラハムの時代から、ヤハウェなる全能のお方を創造神としてお従いするようになりましたが、別の民族たちの神々の影響も受けるようになってしまい、その心は純粋ではいられない状況にもなってしまいました。その度ごとに、預言者と呼ばれる神の僕たちによって軌道修正されながら、イエス様の時代になり、そして、今の時代へと移り変わってきました。人の心というものは移ろい安いものであると言わざるを得ません。

上記の第一ペテロの5章では、良いニュースと悪いニュースをそれぞれ伝えています。良いニュースは、7節に書かれてあるように、私たちの神様は素晴らしい神様で、私たちのすべての心配事をしっかりと取り扱ってくださるので、私たちは自分自身で様々な心配事をすべて神様にお任せできるという世界があるということ。しかし、もう片方の悪いニュースでは、8節に書かれているように、悪魔は恐ろしい姿をして私たちを襲ってくるということです。そして、そんな現実の中で、必死になって悪魔に抵抗する必要があるとペテロは信仰者たちを励ましています。私たちはすべての心配事を神様にお任せすることができますが、同時に、私たちの心をもてあそぶ悪魔に対して、しっかりと、そのことを指し示していく必要がある。いわゆる、私たちの信仰の立場を明らかにしていくということが必要なのです。

すべての心配事を神に任せたら、もう全く恐れる必要はありません。しかし、悪魔は詐欺師のように天才的に私たちを不安に陥れる専門家でもありますので、そんな悪魔に対して必死にならなければその闘いに勝利することは困難であると聖書は語ります。

神道、仏教、儒教、キリスト教という宗教比較をしているうちは真の信仰を持つことはできません。唯一のお方に会うことなしに、私たちの心に真の平安は訪れません。心を低くして、幼子のように、私たちの信仰の目をしっかりと唯一の神に注いでいく必要があるのです。